

第4回 まちづくり市民協議会（第2分科会）会議録

日時：令和元年11月26日（火）18時30分～

会場：市役所3階第5会議室

出席者 委員 7人（うち1人は他分科会より）（欠席5人）
事務局 4人

1 開会

○ 事務局から開催形式等について説明

- ・今回は分科会形式で開催。本日は第2分科会。
- ・議事進行は岩佐副会長

2 事務連絡

- ・議事の進め方について
事務局から説明

3 協議事項

(1) 光市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定(中間案)について

事務局から資料に基づいて説明ののち質疑意見等

●委員

ただ今、事務局から説明した件について、ご意見・ご質問などがあればいただきたい。

●事務局

分科会は、先週の金曜日と昨日（月曜日）も開催したので、そこで出た意見を紹介させていただく。資料2の27ページに教育関連の記載があるとおり、幼保小・小中連携の推進に関連して、これからは小中高の連携が必要になるだろうということで、高校との連携についても検討いただきたいという話があった。それについては、今回、21ページに新しく「高等学校や大学等と連携した人材育成」を記載している。

●委員

資料1の4ページ、基本戦略の②の施策目標「農林水産業の合計生産量」について、R1の目標値が600百万円、R3の目標値が470百万円に下がっているが、どういうことか。

●事務局

R1の目標値を定めたのは、策定時のH27年。当時の基準値が601百万円で、同程度を維持したいということで600百万円と設定している。R3の目標値は、H29に策定し

た総合計画の目標値であるが、手元に資料がなく、目標設定時にこれだけ下げた理由が確かではない。

●事務局

今回の総合戦略の改定は、後から作ったマスタープランである総合計画との整合のため、R3の目標値をそろえることにしている。目標値としては下がっているが、整合をとった結果と理解いただきたい。

●委員

☆印がついているが、総合計画からとった数字ということならば★ではないか。

●事務局

☆は総合計画に載っている数字そのものとイコール、★は総合計画にはあるが、数字自体がイコールということではなく、考え方やルールが同じという意味。

●事務局

☆はそのままの数値。★は、総合計画に項目はあるが、累計年次の違いがあるなど、考え方は同じだが若干アレンジしている部分があるもの。

●委員

資料1の4ページ、成果目標の「就業者数」は、正規雇用の数か。パート等は含まれるか。

●事務局

国勢調査の数値だが、非正規が含まれるかは、確認して回答したい。(後述)

●委員

資料1の4ページ「農林漁業新規就業者数」の目標値は増えているが、農林水産業の合計生産量の目標値が下がっているのは、つじつまが合わないように思う。

●事務局

農林漁業新規就業者数は、市が支援をして、新たに農業・漁業を始めた人の数。農業人材がどれだけ増えたか。それに対して、合計生産量については、新規の方も既存の方も含めたもので、市全体で見れば、生産が落ち込んでいる状況かと思う。

●委員

他市から転入して農業・漁業を始めたが、断念した人はいるのか。

●事務局

中には、農業・漁業をやめて、転出した人もいる。

●委員

先ほど保留した件について回答をお願いしたい。

●事務局

就業者数には、正規・非正規問わず、全ての方が含まれる。

●委員

就業者数は、他市と比べるとどういう状況か。

●事務局

数字は持ち合わせていないが、調べれば分かると思う。後日、回答させていただく。(回答済み)

●事務局

目標値の話に限らず、計画の内容についてもご質問があれば、分かる範囲でお答えしたい。

●委員

資料1の2ページ(4)ア「SDGsの推進」とあるが、17の開発目標のうち、どこを目指してやっていくのか。

●事務局

SDGsは、2015年に国連で採択された17の開発目標で、その中には、貧困や保健、教育、環境、平和等、大きな目標がある。市の施策に落とし込んで、市なりに解釈して推進していくことになる。SDGsの理念を踏まえながら事業を進めていく。総合戦略に掲げているものについても、SDGsと重なる部分については、理念が達成できるように事業や施策を行っていくことになる。幅広い概念なので、具体的な何かというより、理念を踏まえながら取り組むということ。資料2の11ページにあるように、戦略の推進にあたっての一つの考え方として整理している。

●委員

同じく資料1の2ページ(4)ウ「Society 5.0」については、AIやRPAをどのように活用していくか。

●事務局

Society 5.0は、国も新しい総合戦略で力を入れていくことになっている。AIやロボット、自動運転や5Gなど、市が取り組めるものから壮大なものまである。大きなものを落とし込んでできないので、AIやRPAでイメージしているのは事務改善、例えば、会議録を自動で起こしてくれるAIや自動翻訳など、事務の効率化に資するようなもの。今年度は、国民健康保険の健康診査の勧奨案内の文面選択に、AIを活用している。

●委員

大事なことは仕事があること。UJIターンで就業・定着し、子どもが生まれても、子どもが他市に進学・就職するという繰り返しになってしまう。働き場所がないと流出してしまう。地場産業をどのように盛り立てていくか。市内にどのような企業があるかを知ってもらうような取組みが必要ではないか。小さくても世界で活躍する企業が光市にもあるということを知ってもらい、また、市外に発信し、サポートしていくことが必要では。企業誘致も大切だが、今ある企業を大きくして、仕事を増やす。光市には大きな産婦人科もあるし、他市の人も利用している。出産や子育て、教育、仕事の安心があることが重要。高齢者の安心も必要。生活の流れの中で光市の現状が見えるようなホームページなどが必要では。

●事務局

働く場所は、地方創生のうえでも重要。政策目標でも1番目に産業振興と雇用の創出をあげている。総合計画においても7つのプロジェクトに雇用・創業の項目を入れている。所管（経済部）でも計画に基づき、企業立地や創業支援などをこれまでずいぶん行っている。移住・定住の観点からも、東京圏からの就業者に支援金を支給する制度も今年度から開始した。働く場所が重要であることは確かなので、これからも重視していきたい。

●委員

光市の知名度が低い。光市を紹介する材料がない。自慢するものがほしい。人が温かいということくらいが財産か。

●事務局

自分がいいと思うものを宣伝、発信してもらえるとありがたい。市でも、知名度向上や光市を知ってもらうために、引き続きしっかり取り組んでいく。

●委員

テレビでも、おせっかいな結婚式が紹介されていた。

●事務局

山口県で放送された後、NHKの「おはよう日本」でも全国放送され、市外の人からも反響があった。昨年も新聞で取り上げてもらうなど、光市のアピールになった。みなさんも、市外に行ったら、光市のいいところをアピールしてもらえたらと思う。

●委員

生産年齢人口の割合はどうか。

●事務局

生産年齢人口は、資料1の20ページに割合を掲載している。

●委員

生産年齢人口は15歳から64歳ということだが、定年延長になってくると、年齢の区分も変わってくるかもしれない。

4 その他

○ 事務局から今後の予定等について連絡

- ・次回開催は3月を予定している。

終了 19時30分